

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

事業所名 児童デイサービスあさひ丸パーク

保護者数(児童数)33 回収数28 割合85%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	24	2	0	2	活動状況を見たことがない。	現在は感染症拡大防止の観点から、自由に見学・参観等をしていただけない状況にありますが、状況が変わりましたら、参観等、どんどん行ってきたいと考えています。現時点では、面談時等に可能な範囲でお見せたいと思います。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	20	2	0	6	適切とは？	
	③	障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化が適切になされているか	23	1	0	4		
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されているか	28	0	0	0	本人の将来や現在の様子を見て、保護者の希望に沿って考えてくれている。	可能な状況が訪れましたら、積極的に行っていきます。
	⑤	活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか	28	0	0	0	・月ごとのイベントがあり、子どもが楽しめるようになっている。 ・これからの時代への対応が妥妥。	
	⑥	放課後児童クラブや児童館等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	3	5	18	・コロナ禍で難しいと思う。今後期待する。	
保護者 への 説明等	⑦	利用者負担等の説明や支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	28	0	0	0	・今後していくべきことの提案、支援をもらった。	実施可能な状況になりましたら、保護者の皆様同士の交流の機会を設けたいと考えております。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていくか	28	0	0	0	・送迎時に一日の様子を細かく伝えてくれる。 ・家での様子と異なる話を聞き、成長を実感している。	
	⑨	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	25	3	0	0	・面談で子どもの様子を聞き、安心している。 ・子どもの様子をよく見てくださっている。	
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	1	15	11	・父母会、保護者会がない。あれば参加したい。 ・保護者の負担が増えるのは嫌だが、情報交換のできる場が欲しい。	
	⑪	子どもや保護者からの相談や申し入れ、苦情について、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	21	2	0	5	・丁寧に話を聞いてくださり、安心して利用できる。 ・相談に対して、いつも迅速に対応していただいている。 ・よくわからない。	
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	26	2	0	0	・予定表の提出方法にメールを加えてほしい。	
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	26	0	1	1	・Instagramをいつも楽しみに見えています。 ・パークだより、楽しみにしています。	
⑭	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	27	1	0	0	・インスタの写真等、取り扱いに配慮がなされている。		
非常時 等の 対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	23	2	1	2	・策定されていると思うが説明は不明。	訓練等についてはSNS等で発信していますが、策定そのものの有無やその内容について、ご紹介する機会をもちたいと思います。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	26	0	0	2	・定期的に行っている様子がSNSで分かります。	
満足 度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	27	1	0	0	・休みの日も行きたいと言っている。 ・子どもは大好きで、安心できる場所なのだと思う。	・楽しい場所であり続けるために今後も努力続けます。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	27	1	0	0	・とても満足している。 ・活動内容には満足しているが、学校への送迎がないため、どちらともいえない。	・送迎時にご不便をおかけしていることについて対応できるものはしていきます。

事業所における自己評価結果(公表)

公表： 令和 4年 3月15日

事業所名 児童デイサービスあさひ丸パーク

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	0	0		
	②	職員の配置数は適切である	3	5	0		より質の高い、安心安全な療育のため、引き続き職員の研修を充実させる。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	5	0		トイレ、玄関を中心に、バリアフリー化を検討していきたい。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している。	6	2	0	会議や研修の中で、話し合いを行っている。	
	⑤	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	1	0		
	⑥	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の開放やホームページ等で公開している	7	1	0		
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	4	0		実地指導などでご指導いただいたことも含め、外部評価の機会を増やしていく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	2	0		外部研修、講師を呼んでの研修など、さらに研修の機会を増やしていく。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8	0	0	保護者とのコミュニケーションをまめにとり、ケア会議、終礼などで共通理解を図りながら、計画作成に活かしている。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	4	0		
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0	0	プログラムごとにリーダーを決め、準備に当たっている。	
	⑫	活動プログラムが固定化されないよう工夫されている	8	0	0	会議等での職員同士の話し合いをもとに、曜日、季節なども考慮し、更新されている。	
	⑬	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成している	8	0	0	個別、集団それぞれの特徴と子どもたちの特性を照らし合わせながら、どちらも大切にしている。	
	⑭	支援開始前には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	4	0		出勤時間にずれがあり、朝礼を行えない状況のため、ホワイトボードを活用しているが、さらに確認しやすいものにしていく。
	⑮	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	0	0	終礼の中で、全職員で共有している。	その日出勤していない職員にも速やかに周知する方法を考えていく。

	⑯	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	0	記録と報告、ヒヤリハットなどから、改善につなげている。	
	⑰	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8	0	0		
関係機関や保護者との連携	⑱	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画している	7	1	0		
	⑲	母子保健やこども・子育て支援等の関係者や学校、関係機関と連携した支援を行っている	5	3	0		現時点では、オンラインを用いた会議や研修を活かしていく。
	⑳	就学前に利用していた保育所、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	3	0		モニタリング時以外でも、特に低学年行っていきたい。
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか	2	3	3		
	㉒	児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	2	0		
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	2	6		コロナが落ち着いたらぜひ行いたい。
	㉔	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	5	1		
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0	0	送迎時には、連絡帳記載事項以外も伝えるようにしている。	
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	4	0		
	保護者への説明書	㉗	運営規定、利用者負担等の説明や、支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ている	8	0	0	
㉘		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0	0		適切な助言ができるよう、知識と経験を増やしていく。
㉙		父母の会の活動をしたり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	1	7		コロナが落ち着いたらぜひ行いたい。
㉚		子どもや保護者からの相談や申し入れ、苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0	0		

責任等	③①	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に発信している	8	0	0	月ごとにおたよりの発行、ほぼ毎日SNSの更新を行っている。	
	③②	個人情報の取り扱いに十分注意している	8	0	0		
	③③	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	0		
	③④	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	1	7		コロナが落ち着いたらぜひ行いたい。
非常時等の対応	③⑤	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練が実施している	6	2	0		
	③⑥	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行っている	7	1	0	毎月さまざまな形態での避難訓練を行っている。	
	③⑦	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7	1	0	すぐに目を通すことができるように掲示してある。	
	③⑧	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	2	0		
	③⑨	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	1	0	保管場所を決め、そのたびに回覧することなどを通して、スタッフが共有しやすいようにしている。	
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	1	0		
④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	3	0			

事業所自己評価のまとめ

事業所名 児童デイサービスあさひ丸パーク

職員による自己評価と保護者による評価の共通点

- 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されているか
- 活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか
- 利用者負担等の説明や支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか
- 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか
- △父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか
- △緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している

相違点

- ・子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか
- ・職員の配置数や専門性は適切であるか
- ・障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化が適切になされているか
- ・定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか
- ・子どもや保護者からの相談や申し入れ、苦情について、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか

改善点と改善への取り組みを話し合った結果

- ・保護者との認識の相違点の多くは、我々のみが知っている、または知ってもらっていると思い込んでいたのみで、実際には家庭に伝わっていなかったことであると思われた。そこで、家庭への情報提供、啓発活動の内容と方法について再度検討していくことが必要であると考えた。
- ・環境・体制整備については、保護者の方が満足度が高い結果となったが、内部事情について公表していないため仕方のない部分もある。建物の構造を変えずにできることを考えて対策を講じたい。
- ・子どもたちの様子については伝えてもらっているが、助言はしてもらっていない、と考える保護者もいるように受け止めることができる。さらに研修を充実させ、個別のニーズに対してのスタッフの自信、自負を高め、対応できるようにしていきたい。
- ・昨年度に引き続き、保護者同士の交流や他施設との交流が、新型コロナウイルス感染拡大の現状では、実施困難であることが、職員保護者共通の認識であった。落ち着くことがあれば積極的に交流機会を設けたい。また、それ以外の保護者同士、子ども同士をつなげる方法を模索していきたい。